3 低圧進相コンデンサ設備

V-Pac形（オイルレス）低圧進相コンデンサ設備〈L=6%対応品I5=55%〉

特　長

①高調波耐量の強化：　JIS C 4901に準用し、高調波耐量を増大させたI5=55%直列リアクトルを採用しています。

②オイルレスタイプ：　装置内に絶縁油を使用しておらず、安全性に優れています。

③超小型化　　：　薄型配電盤（奥行700mm）に収納できます。

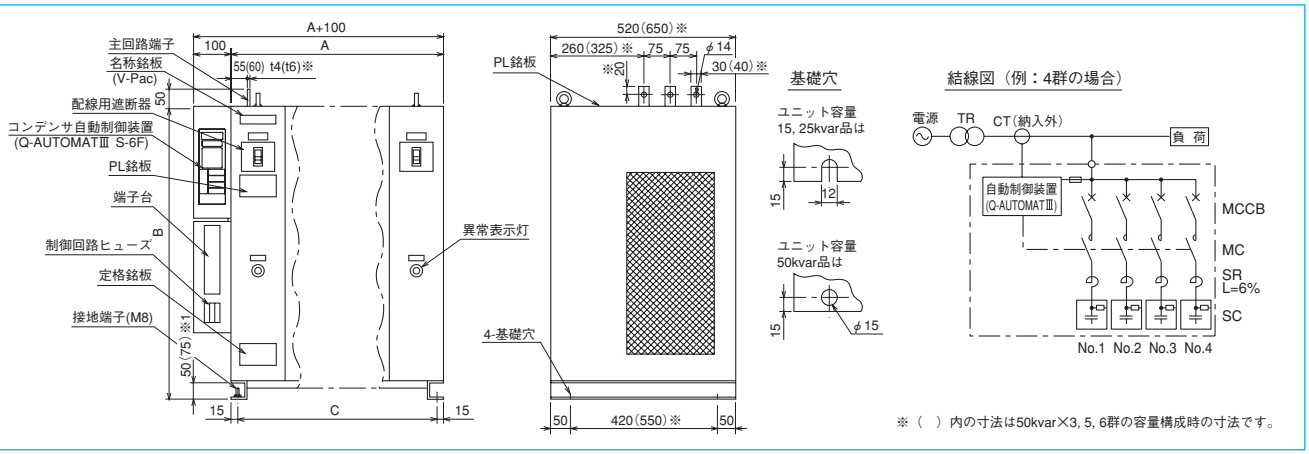
④標準ユニット化　：　15，25，50kvarを標準ユニットとし、15～150kvar（組合わせにより300kvarまで可）まで構成できます。

定格及び仕様　回路電圧：220V，440V

形式	V-Pac　オイルレス
使用場所	盤内収納専用
相数	三相
検出方式	力率検出方式
制御方式	サイクリック方式

保護	設備	配線用遮断器
	コンデンサ	保安機構付
	リアクトル	温度センサ
周囲温度		−5℃～+45℃
準用規格		JIS C 4901
塗装色		マンセル5Y7／1

外形寸法図



※（　）内の寸法は50kvar×3, 5, 6群の容量構成時の寸法です。

使用上の注意

①V-Pacは必ずキュービクル盤の中に据え付けて御使用して下さい。

②V-Pacは上下2段積みで使用しないで下さい。

③V-Pac及び他の機器の発熱により盤内温度が上昇しない様、盤には換気などを考慮して下さい。

④盤内の換気計算に必要なV-Pacの発熱量は製品仕様書を参照願います。

⑤配線用遮断器の遮断容量が不足の場合は必要な遮断容量の定格を御指示願います。または、遮断容量を満足させるカスケード遮断方式とする為の遮断器を上位に取付けて下さい。

⑥標準の遮断容量（Icu/Ics）は、
　220V　15kvarユニットの時30/15kA、
　220V　25kvarユニットの時30/15kA、
　220V　50kvarユニットの時36/27kA、
　440V　50kvarユニットの時25/25kAを使用しています。

⑦負荷電流検出用CT（納入外）は必ず主回路より電源側のR相に取付け願います。

⑧運転前には制御装置のCT比の設定が必要です。設定は取扱説明書を参照願います。

定格寸法表 V-Pac

回路電圧 (V)	受電用変圧器 (kVA)	周波数 (Hz)	設備容量 (kvar)	容量構成	品　番	定格電流 (A)	寸　法 A	B	C	総質量 (kg)
220	50	50/60	15	15kvar×1群	SVF15D＊-1	39.4	150	850	120	65
	75	50/60	25	25kvar×1群	SVF25D＊-1	65.6	150	850	120	70
	100	50/60	30	15kvar×2群	SVF15D＊-2	78.7	300	850	270	110
	150	50/60	50	25kvar×2群	SVF25D＊-2	131	300	850	270	120
	200	50/60	75	25kvar×3群	SVF25D＊-3	197	450	850	420	170
	300	50/60	100	25kvar×4群	SVF25D＊-4	262	600	850	570	220
	500	50/60	150	50kvar×3群	SVF50D＊-3	394	600	1175	570	350
	750	50/60	250	50kvar×5群	SVF50D＊-5	656	400+600	1175	370，570	600
	1000	50/60	300	50kvar×6群	SVF50D＊-6	787	600+600	1175	570，570	700
440	300	50/60	100	50kvar×2群	SVF44B＊100S2R	131	400	1175	370	250
	500	50/60	150	50kvar×3群	SVF44B＊150S3R	197	600	1175	570	350
	750	50/60	250	50kvar×5群	SVF44B＊250S5R	328	400+600	1175	370，570	600
	1000	50/60	300	50kvar×6群	SVF44B＊300S6R	394	600+600	1175	570，570	700

（注）1. 品番の＊は周波数表示とする。